

ほほえみ

2025.9

秋号

Vol. 75

家政士検定 第10回 記念 特集号

2016年「第1回家政士検定試験」が実施されてから今年2025年で第10回となります。今号は「第1回家政士検定試験」を記念した特集号となります。

第10回 記念座談会

合格者の声「選」

第1回家政士検定(2016年)

“思い出のフォト”



写真:九谷焼(くたにやき)は、石川県南部(加賀市や小松市、能美市、金沢市など)で生産される、色絵の磁器。五彩手という色鮮やかな上絵付けが特徴。約370年前の江戸時代前期、加賀国江沼郡九谷村の奥山の窯で焼かれた色絵磁器が始まりとされている。

家政士検定

10th
Anniversary



第10回 記念座談会



家政士検定試験の第10回を記念して座談会を2025年7月24日に開催いたしました。司会は広報委員会委員長清水氏です。

清水^{委員長} 家政士検定試験の第10回を記念して座談会を行います。本日は3名の家政士さんに集まっていたきました。まずは自己紹介をお願いします。

田中^{さん} (株)アーチ福祉&サービス人材センターの田中幸子と申します。第1回の家政士試験を受験させていただきました。コロナの時期に少しお休みしていたのでややブランクがありますが、また再開いたしまし

た。キャリアはトータルで10年ほどです。

瀬川^{さん} 港南家政婦紹介所の瀬川千恵子と申します。仕事を始めて3年目になります。一昨年に受験し、合格して家政士になりました。

鈴木^{さん} 鈴木栄理子です。(株)やさしい手に在籍しており、30年目になります。第2回の家政士試験を受けました。

家政婦(夫)となった経緯

清水^{委員長} それぞれ、家政婦(夫)になったきっかけを教えてください。

鈴木^{さん} もともとお料理を作るのが好きで、何かそれを仕事にできないかなと思っていたのですが、母がた

またま(株)やさしい手で介護の仕事をしておりまして、家政婦(夫)も募集しているとすすめられ、門を叩きました。ただ30年前だったので、お料理専門に仕事をしたいというのがめずらしかったのか、逆に利用者さんからはとても重宝がられました。自分の好きなこと得意なことを生

かせたのが、すごく嬉しかったです。
瀬川さん 私はがんを経験しているんですが、病気を乗り越えまして、今度は自分がほかの人のお役に立ちたいと思っておりました。料理も好きなので、それを生かした仕事をしたいと思っていましたところ、通っていた動物病院の先生が紹介所の利用者さんで、それで紹介いただいて始めました。

田中さん 私の場合、仕事を探している時に、若い頃に近所の人が住み込みの家政婦(夫)をやっていたのをちょうど思い出したんですね。それ

で、家事の仕事だったら私もできるかなと思ひまして、ヘルパーをやっている方に、家政婦(夫)の仕事はやってないかとたずね、



田中幸子さん

それで紹介していただきました。

清水委員長 なるほど、経緯はそれぞれですね。瀬川さんはご病気を経験し克服されたとのことで、素晴らしいお話ですね。

家政士資格を取得して



清水委員長 仕事でやりがいを感じられる部分があるかと思いますが、受験のことや実際に家政士になるためのことをお聞かせください。

田中さん 最初、何となく入ったこの世界だったんですけども、この仕事に正解というのはないので自信がなく、いろいろなご家庭に行くなかで、すごく不安を感じながら仕事をしていました。そんな時に、たまたま会社にあった会報誌を見かけたんですね。そこに第1回の家政士検定の試験があると書いてありましたので、家政士がどういうものかも学べるし、自分にも自信をつけることができるかなと思ひまして、そこで所長にお願ひし、受験させていただきました。

清水委員長 正解というわけではない

けれども、実際に受かってからは、それまでやっていたことが間違いではなかったと感じられましたか。

田中さん 自信を持って物事に当たれるようになってきました。

瀬川さん 人のためになりたい、お役に立ちたい、と思って始めたんですけども、仕事をやっていくうちに、信頼されたり感謝の言葉をかけられたりして、逆に自分のほうがいろいろと大切なものをいただいていると感じてきて、いつの間にか本当に自分の生き甲斐になっていました。

鈴木さん 先ほどもお話ししましたが、料理が専門でこの世界に入ったので、逆に掃除や洗濯のほうはダメだったんです。そこで、この家政士の資格を取るためにテキストを読み込みましたところ、今さら聞けないことがたくさん載っていて、例えば、染み抜きのことや洗濯の表示のマークについてなど、私は正直言って



鈴木米理子さん

全然知りませんでしたが、テキストを読んだことがすごく勉強になり、自分自身がスキルアップできました。また、今まで料理

だけで頼っていた利用者さんからも、「鈴木さん、できるようになったじゃない！」みたいに言われるようになりました。

清水委員長 利用者さんからも褒めら

れたと。

鈴木さん はい、利用者さんからも褒められてすごく嬉しかったですし、自分が勉強してスキルアップすることで、私も利用者さんも笑顔になれるのだと思っています。今でも何かわからない時はテキストを見直しています。

清水委員長 素晴らしいことです！この仕事に自信が持てたり、生き甲斐になったり、今まで知らない分野を知ることができたりとか、なかなか世界観が広がってるという感じがですね。

家政士であること



清水委員長 家政士という資格の意義をどのように考えていますか。とても難しい質問かもしれませんが、もう少し深く掘りさげていければと思います。

田中さん 資格が必要な世界のような気がするんですね。何でもそうなんですけど、日本は特にそうなのかもしれないという話を聞いたことがあります。資格があるかないかによって、対応が違ってくると感じたこともあります。先ほどもお話ししたように、家事はとても好きだったんですけれど、自信がなかったんですね。それが、資格を取ることによって、任せていただいても大丈夫という気持ちになったと思います。この家政士という資格の認知度がもっと上がっていったらいいなと

思っています。

清水委員長 田中さん自身が資格を取ったことでスキルアップされた——そのことこそ、この資格の認知度を上げることに貢献しているのかもしれないですよ。

瀬川さん 家政婦(夫)の仕事というのは、単に家事を行うだけのものではなくて、家族の一員という感じがします。家族の一員として信頼していただく。信頼なくしてはできない仕事だなあと感じます。この仕事は本当に社会に貢献できる仕事だとすごく思います。

清水委員長 社会貢献されている——絶対そうだと思います！ どの仕事も必要だと思うけれども、やはり家庭があってこそ、社会に出ていけるってところがありますよね。私たちがそこのご家庭をちゃんと支えることができれば、すごくお役に立てていると思います。

鈴木さん 昨今、本当に一人暮らしの高齢の方も多いです、共働きでお子さんのいないお宅も多く、また逆に専業主婦の方でも自分の趣味をとても大事にして、家事をやるよりそっちをやりたいという奥様も多い。やはり信頼関係を持って1日の数時間を安心して私たちに任せていただき、その家庭がよりよく回ってくれるようにお手伝いができるということは、私としてもすごくやりがいを感じます。

今後の目標は



清水委員長 今後の目標も教えてくださいませんか。それぞれ家政士としてすでに一つの段階は越えていると思うのですが、そこから先、どのようにやっていきたいのかということを教えてください。

鈴木さん 利用者さんのリクエストのハードルが日々高くなっているような気がするんです。10年前20年前に比べたら、映像であったりSNSだったりを通して容易に情報に触れるため、本当に利用者さんの目が肥えてきました。われわれ家政士も常にそれに向き合って勉強していかなければいけないのかなと思います。これで終わりではなく、次はどうすればいいかと、いつも考えながら仕事をしています。

瀬川さん 家政士として、必要とされる人として、利用者さんが思ったとおりに生きられようにお手伝いし

清水委員長 やはり、一人暮らしの方だったり、共働きの方または専業主婦の方など、それぞれの生き方がありますよね。われわれがその人たちの生き方に寄り添うかたちでいてあげられれば、その人たちの世界がさらに広がっていく——そこにわれわれの存在意義がありますよね。お客様のためであるとともに自己実現にもなっていくのかなと思います。非常に意義のあることかなと思います。

ていきたいと思っています。掃除や食事など家事で求められるように努力していきたいと思っています。まずは、利用者さんに好かれな

いと難しい仕事なので、信頼されるように日々鍛錬しようと思っています。

田中さん 私の好きな言葉に、「人の前を灯せば、自分の前も明らかになる」というのがあるんですけど、それが私の座右の銘になっています。利用者さんに喜んでいただけることが、自分の喜びにつながるという考えです。少しでも喜んでいただけるように、また信頼していただけるように、まだまだ自分も成長していきたいと思っています。

清水委員長 本日は本当に貴重なご意見を伺えたと思います。皆さんありがとうございました。



瀬川千恵子さん

家政士検定試験 合格者の声



『ほほえみ』では今まで多くの「合格者の声」を掲載してきました。
その中でも反響の多かった「合格者の声」を再度ご紹介いたします。

プロとして気持ちを新たに

第1回目の家政士検定試験を、会社や先輩の方からのお勧めもあって受けさせていただきました。テキストは、家政士の仕事をトータルにまとめてあり、今までこのような教材がなかったので、自分の仕事の中で、見落としてきたことも多く、反省しながら学びました。合格通知をいただき、お

静岡県 横内智子さん

客様にも自信を持って接していけるようになりました。

地元新聞社の取材を受けて、改めて家政士資格を授与されたことに感謝し、この仕事をしてきたことに誇りを持ちました。これを機に、プロとして気持ちを新たに仕事に励んでいきたいと思っております。



家政士検定試験を受験して

家政士検定試験の案内を見て迷っていましたが、4冊のテキストを見て、基礎知識を会得したいと思って受験することに決めました。仕事の幅の狭さ、知識の浅さを感じていたので、理解しやすく充実した内容のテキストを読んで興味をもてました。ビジネスマナーや職業倫理などは社会人とし

埼玉県 小室裕子さん

て大変勉強になりました。機会を逃さずに、基本を学べたことで、今以上にお客様に寄り添った対応が実行できそうです。そしてさらに、家政士としての自覚と心がまえをしっかりと持つことができました。ありがとうございました。



学んだことが仕事に役立っています！

東京都 山下しおんさん

家政婦(夫)の仕事を始めて間もない頃には、家庭での家事と家政士の仕事とはどう違うのかと漠然と疑問に感じていました。そんな時に、紹介所の方に誘われて「家政士検定試験」を受験することとなりました。検定試験に向けて紹介所主催の勉強会を開いてくれたり、沢山の応援や励ましをいただきました。

家政婦(夫)のお仕事はお客様と接する

仕事なので「目配り、気配り、心配り、思いやり」の大切さを学ばせていただきました。家事や介護のスキルを向上させることも必要ですが、自己流ではなく、利用者宅のやり方やお気持ちに添ってお仕事をさせていただく、ということが大事なんだと気付きました。私はこの検定試験で学んだことが仕事に役立っています。

家士検定試験思うこと

神奈川県 山田かおりさん



家政士の検定試験を受けるためにした勉強で、受験にチャレンジするにしても、家政婦(夫)としてこれからも仕事をしていくためにも、とても必要な知識ばかりだと、テキストを読んでいて感じました。家事サービスだけでなく、介護・子育て、職業倫

理やコミュニケーション、マナーなどの、幅広い知識を学ぶことができると同時に、自分自身へのスキルアップにもつながりました。今後も、自己流ではなく、プロの「家政士」として、お客様の求める仕事ができるように、がんばっていきたいと思っています。

講習会で皆が頑張る姿に励まされました。大阪府 置田クミ子さん

事前の勉強ではテキストをしっかりと読み、苦手な部分は単語帳に書き込んで何度も見返しました。勉強に行き詰まった頃にちょうど講習会があり、幅広い世代が検定試験に向けて一生懸命に頑張っている姿に感動と勇気をもらい、改めてモチベーションを上げることができました。学科は緊張せずに臨めました。ただ、実技は3名の試験官の

前で行ったためとても緊張してしまい、手順を間違えてやり直しとなりました。今回は不合格だと思っていたので、合格の通知を見たときには感動して涙が出てきました。

この歳になっても、頑張った先には喜びがあるということを味わわせていただき、大変感謝です。

厚生労働大臣認定

第10回 家政士検定試験

■ 第10回記念事業

第10回検定試験の記念事業として、さまざまな企画を用意しました。

① 全国10か所と過去最大規模での実施

+

② 受験者に記念のクオカード(額面 2,000 円)を進呈

+

③ 合格者のスキルアップのための教材、資料等の支援サービスの提供

■ 試験日 11月22日 ±

■ 試験会場

試験地	会 場
札幌	札幌エルプラザ 札幌市北区北8条西3丁目
さいたま	ソニックシティ さいたま市大宮区桜木町 1-7-5
千葉	千葉県教育会館 千葉市中央区中央 4-13-10
東京	品川リハビリテーションパーク 品川区北品川 5-2-1
横浜	ウィリング横浜 横浜市港南区上大岡西 1-6-1

試験地	会 場
福井	福井県中小企業産業大学校 福井市下六条町 16-15
静岡	静岡県産業経済会館 静岡市葵区追手町 44-1
尼崎	ポリテクセンター兵庫 尼崎市武庫豊町 3-1-50
岡山	ポリテクセンター岡山 岡山市北区田中 580
宮崎	宮崎県婦人会館 宮崎市旭 1-3-10

■ お問合せ先 公益社団法人日本看護家政紹介事業協会 家政士検定試験係

TEL. 03-3353-4641 メール kentei@kanka.or.jp

受験案内及び受験申請書は日本看護家政紹介事業協会ホームページからダウンロードできます。



第1回 家政士検定 “思い出のフォト”

2016年



神戸会場



仙台会場



千葉会場



横浜会場



大阪会場



東京会場



宮崎会場



高松会場

2025年9月25日発行

制作：公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会

〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3-2

TEL:03-3353-4641/FAX:03-3353-4326

Email:post@kanka.or.jp

<http://kanka.or.jp>

制作協力：(株) ミス総合企画

TEL:03-5467-4530/FAX:050-6875-5907

Email:mizmail@sepia.ocn.ne.jp